

2023年12月15日

各位

会社名 株式会社モバイルファクトリー  
代表者名 代表取締役 宮脇 裕二  
(コード: 3912 東証スタンダード)  
問合せ先 常務執行役員 佐藤 舞子  
(TEL. 050-1743-6211)

## 特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年12月期第4四半期連結会計期間において、のれんの減損損失（連結決算）及び当社が保有する連結子会社株式の減損処理等による特別損失（個別決算）を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、2023年12月15日開催の取締役会において、下記のとおり、2023年1月27日付の「2022年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した2023年12月期の通期連結業績予想を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. のれんの減損損失（連結決算）

2023年10月23日付「当社子会社に関する一部報道について」のとおり、当社の連結子会社である Suishow 株式会社 が運営するサービス「NauNau」における個人情報漏洩の可能性を認識いたしました。本件に対する調査結果は、2023年12月7日付「（開示事項の経過）当社子会社に関する一部報道について」において公表済みであります。

しかしながら、再発防止策の検討及びサービス再開時期は現在も未定であり、利用ユーザーの減少が予測される状況等を踏まえて今後の計画を見直した結果、当初想定されていた収益獲得が見込めなくなったと判断し、2023年12月期の連結決算において、同社に係るのれんの減損損失として899百万円を特別損失に計上する見込みです。

#### 2. 連結子会社株式の減損処理等による特別損失（個別決算）

上記1. の状況を踏まえ、当社が保有する連結子会社である Suishow 株式会社の株式について評価を行った結果、実質価額が著しく下落していることから、2023年12月期の個別決算において減損処理を実施し、関係会社株式評価損として最大で993百万円を特別損失に計上する見込みです。なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算上消去されるため、連結損益への影響はございません。

また、同社に対する貸付金について回収可能性を検討した結果、貸倒引当金を積むこととし、100百万円を特別損失に計上する見込みです。

今後、金額の重要な変更等、公表すべき内容が発生した場合には速やかに開示いたします。

### 3. 通期連結業績予想の修正について

2023年12月期通期連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (当期純損失)	1株当たり 当期純利益 (当期純損失)
前回発表予想（A） (2023年1月27日発表)	百万円 3,270	百万円 896	百万円 896	百万円 621	円 銭 78.69
今回発表予想（B）	3,367	920	916	△67	△8.67
増減額（B－A）	97	23	19	△689	—
増減率（％）	3.0	2.7	2.2	△110.9	—
（ご参考）前期実績 (2022年12月期)	3,144	864	865	558	69.70

### 4. 修正の理由

2023年1月27日付「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した2023年12月期の通期連結業績予想に対して、親会社株主に帰属する当期純利益（当期純損失）に関しましては、上記1.に記載のとおり、減損損失を計上することにより、前回予想を大きく下回り当期純損失となる見込みとなりましたので、通期連結業績予想の修正をいたします。

なお、売上高に関しましては、主力のモバイルゲーム事業の位置情報連動型ゲーム「ステーションメモリーズ！」が牽引し、過去最高を更新するとともに上回る見込みです。営業利益及び経常利益に関しましては、Suishow株式会社の取得にともなうのれん償却費等が発生した一方で、モバイルゲーム事業及びブロックチェーン事業の広告宣伝費減少等により上回る見込みです。

また、配当金につきましては、前回予想のとおり1株当たり期末配当8円を予定しております。

※ 本資料の業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上